

就学事務システム（就学援助）の標準仕様作成事業 就学援助事務システム標準化ワーキングチーム（第2回）議事概要

1. 日時 令和4年8月10日（水） 10:00～11:30
2. 会議形式 オンライン会議
3. 出席者 構成員：犬童委員、奥山委員、高倉委員、松本委員、若松委員
事務局：文部科学省初等中等教育局修学支援・教材課、
アビームコンサルティング株式会社
4. 議事
 - (1) 第2回意見照会結果の説明と対応方針案の協議について
 - (2) 質疑応答
5. 議事概要
 - 事務局から、第2回意見照会の結果と対応方針案について説明が行われ、続いて意見交換が行われた。意見交換の概要は、以下のとおりである。
6. 意見交換概要
 - 論点4について、認定年度切り替えの基準日が4月ではない自治体もある。例えば、基準日が7月の自治体では、「前年度末の認定者」を対象とすると、4月から6月の間に認定取消になった場合も継続認定の対象になってしまい、不都合が生じるのではないかと。
 - 対象となる日を任意に設定できると良いと考える。
 - ご指摘を踏まえ、機能を検討する。
 - 各自治体において、認定期間中に収入に変更があった場合に、随時認定の見直しを行っているのか。
 - 所得要件での見直しは行っていないが、世帯員に変更があった場合には随時見直しを行っている。例えば、世帯員が増えて認定取消となることがあり、就学援助の継続を希望する場合は、再度申請をしていただく必要がある。
 - 年度途中の職の変更や失職の場合に再度申請いただいている。そのため、収入が変わった場合に再度認定の見直しを行うことがある。
 - 意見照会において、標準帳票レイアウトのうち、支給通知書のレイアウトについて、支払対象ごとに小計を表示できるようにして欲しいとの意見があった。特に保護者支払額については、各自治体においても問い合わせが多く負担となっているため、小計がわかるようにレイアウトの改定を行うことを検討しているが、改定案について意見を伺いたい。
 - 問い合わせが多いのが、保護者への支払額である。そのため、保護者支払額が目立つレイアウトとなっていると良い。
 - 可読性の観点から、小計の位置は変えない方が良いのではないかと。保護者支払額が目立つことが重要であるため、太線囲みにするなど、位置を変えずに目立たせる方法も検討してはどうか。また、各学校において学校支払額から未納分に充当しているケースがあり、誤解を生む可能性があるため、充当額の欄を削除できると良い。
 - 全ての人が備考欄まで目を通すとは限らないため、充当額の欄を削除し、学校支払額の項目名に「充当額含む」と記載する等の対応ができる方が良いと考える。
 - 学校支払額に充当額を全て含めると支障が出るため、学校支払額をさらに細分化するような記載はどうか。あるいは「充当額」という記載がわかりにくいと、そこを見直すのはどうか。
 - 充当額を削除して学校支払額に含めた上で、給食センターへの支払額を別に記載する形はどうか。
 - 本帳票についての意見照会結果を再度確認の上、レイアウトの見直しについて検討する。